

## 経営学部経営学科 教育課程編成・実施の方針

---

---

経営学部経営学科は、学位授与方針に定めた能力と資質を持つ人材を育成するために、以下のよう  
に教育課程を編成し、実施します。

本学部の学生の進路は、多様な業種や職種に渡り、就職後も配置転換、転職など多様な職場を経  
験する可能性があることから、多様な科目を段階的、体系的に履修できるように配慮しています。  
具体的には、以下のように科目を分類し、履修モデルを提供しています。

### 1. 全学共通科目と学部固有科目

グローバル化、複雑化が加速する現代社会に対応するためには、幅広い視野が不可欠であり、専  
門知識とともに幅広い視野を養う教養知識が必要であることから、以下のとおり全学共通科目と学  
部固有科目を設けています。

- ①全学共通科目：幅広い視野を養うための、社会、人間、自然やコミュニケーションに関連した科  
目
- ②学部固有科目：経営学に関連した専門知識や技能を身につける科目

### 2. 学部固有科目の区分

専門知識を段階的に身につけることができるように、学部固有科目を以下のとおりに大きく分類  
しています。

- ①学部共通科目（必修科目又は選択必修科目）：経営学を学び、将来の進路を考える上で必須の知  
識や技能を身につける初年次教育科目
- ②基礎科目（選択必修科目）：経営学を学ぶ上で必要な基礎知識を身につける科目
- ③基幹科目（選択必修科目）：経営学の各分野を深く学ぶ上で事前に必要となる知識を身につける  
科目
- ④展開科目（選択科目）：経営学の各分野を深く学ぶ科目

### 3. 学部固有科目の科目群

専門知識を分野別に身につけるために、学部固有科目を以下のとおりに大きく分類しています。

- ①学びの基礎：読む・書く・聞く・話すの基礎的なリテラシーとキャリアデザインについて学ぶ。
- ②経営学の基礎：経営学の基礎を体系的に学ぶ。
- ③企業・ストラテジー分野：組織の中・長期的な方針・計画を立案し、実現する方法について学ぶ。
- ④組織・マネジメント分野：経営の基礎となる組織の運用・管理に関する手法について学ぶ。
- ⑤会計・ファイナンス分野：経営に必要となる資金の流れを含む計数を把握し、活用する方法について学ぶ。
- ⑥演習科目：少人数の双方向型授業により、各専門分野に関する実践的知識を身につける。
- ⑦ビジネス・データサイエンス：データの集積から価値ある情報を生み出し、ビジネスに活用する技能を高める。
- ⑧グローバル・ビジネス・コミュニケーション&リーダーシップ：ビジネスプロフェッショナルとして活躍するための英語能力、論理的思考力、リーダーシップやコミュニケーション能力を高める。
- ⑨関連科目：経営学を理解する上で重要な周辺の知識を獲得する。

### 4. 学修成果（教育目標）と学部固有科目との関係

学修成果に関連する代表的な学部固有科目は、以下のとおりです。

#### 【知識・理解】

- ①経営に関する基本的な専門知識を理解し、説明できる。  
「経営学入門Ⅰ・Ⅱ」「現代企業論」「中小企業論」「経営戦略論」  
「マーケティング論」「経営組織論」「経営管理論」「人材マネジメントⅠ・Ⅱ」「経営情報論Ⅰ・Ⅱ」  
「会計学Ⅰ・Ⅱ」「管理会計Ⅰ・Ⅱ」「金融論」「コーポレート・ファイナンスⅠ・Ⅱ」など
- ②経営現象を社会、文化、歴史の視点で理解し、説明できる。  
「経営学入門Ⅰ・Ⅱ」「現代企業論」「中小企業論」「経営戦略論」「マーケティング論」「経営組織論」「経営管理論」「企業と社会論」「日本経営史」「国際経営史」「国際経営論」「国際ビジネス戦略」  
「全学共通科目」「関連科目」など

#### 【汎用的技能】

- ③情報コミュニケーション技術、外国語、簿記・会計に関する基礎的能力を持ち、適切に活用できる。  
「データサイエンス入門Ⅰ・Ⅱ」「ビジネス・データサイエンスA・B」「ビジネス・コンピューティングⅠ・Ⅱ」「海外ビジネス研修」「ビジネス・イングリッシュⅠ・Ⅱ」「簿記入門Ⅰ・Ⅱ」など
- ④他者の考えを理解しつつ、自分の考えを文章やプレゼンテーションを通して正確に伝達できる。  
「アカデミックスキルズ」「ストラテジック・シンキング」「コーチングコミュニケーション&リーダーシップ」「プロジェクト・マネジメント」「ゼミナールⅠ～Ⅵ」「経営プロジェクト研究A～D」など
- ⑤経営課題を発見し、解決に向けて論理的に分析できる。

「ストラテジック・シンキング」「コーチングコミュニケーション&リーダーシップ」「プロジェクト・マネジメント」「ゼミナールⅠ～Ⅵ」「経営プロジェクト研究A～D」「インターンシップⅠ・Ⅱ」など

**【態度・指向性】**

⑥多様な考え方を持つ他者と協調・協働し、リーダーシップをも発揮できる。

「ストラテジック・シンキング」「コーチングコミュニケーション&リーダーシップ」「プロジェクト・マネジメント」「ゼミナールⅠ～Ⅵ」「経営プロジェクト研究A～D」など

⑦グローバル社会の一員として幅広い視野で物事をとらえ、社会の発展に積極的に関与できる。

「全学共通科目」「海外ビジネス研修」「海外短期研修Ⅰ・Ⅱ」「海外留学」「ゼミナールⅠ～Ⅵ」など

5. カリキュラム実施における取り組み

これらのカリキュラムの円滑な運営のために、学部として、シラバス、カリキュラム、授業内容などの自己点検活動を通して、教育の質を確保するよう取り組んでいます。成績評価については、個々の教員が学修到達目標に基づき、厳格な成績評価を行っています。

また、学生の支援として、入学時に実施される履修ガイダンスや新入生オリエンテーションを通して、カリキュラムの理解を促し、個人の要望に応じた履修ができるように配慮しています。